



議会

によどがわ

だより

2013.2
第30号



25年1月2日 成人式

十二月定例会

農林業・産業の育成は
納得できる庁舎を
補助金・厳正な運用を
一般質問通告書

コミュニティバス 委託先の再検討を
地域懇談会391人参加

中学生模擬議会 有意義な体験



高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 片岡政徳 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 賀佐川印刷所

一 般 質 問

24年度第8回定例会が12月5日・6日に開かれた。

一般質問に8人が、当面する課題について活発な議論を展開した。



農林業・産業の育成は

答 精一杯支援

問

野村安夫

農林業、その他の産業が円高やデフレで厳しい状況の中、農林業の後継者不足が深刻になっているが、町として具体的な取り組みは。

答

町長

林業全体の育成は、国や県の補助制度を有効活用し、県森林技術センターや県林材業労働災害防止協会による技術、作業、労働法令などの講習、定期健診の参加を勧め、育成支援を行っている。

農業では、国は6次産業化の推進などにより足腰の強い農業の確立に力を入れているが、ハードルが高く中山間地では難しい。

国の制度として青年就業給付金事業があり、新規就農者の経営が軌道に乗るまで支援。

農林業者に対する直接補助は個人を対象とした制度となる場合が多く、町の単独補助は難しい。



更新中の吾川製茶工場（大崎）

問

野村

世の中、変化しているこれから先、有意義な政策を実行できるかが本町生き残りの道であると考ええる。

昨年10月、北九州地方に研修に行ってきた。

その中で、八女市の八女茶の生産から販売に至る市の取り組み、援助に感服した。

平成6年から24年までの生産量約40%増、販売額5%増。本町では生産

量、販売量共に1/4に減少している。この状況を考慮したとき、今までの町の力の入れ方に疑問を感じる。

町の活性化のためには、農林業の再生なくして復活はありえない。

町の単独補助にしても、八女市の場合機械導入にあたり50%補助を個人工場52に援助、本町の場合0%。

これではますますやる気、頑張る力が失われ、産業の衰退が見えるが。

生産量の多い工場だけでなく、個人の工場にも支援をし、生産量の底上げをしないと疲弊、衰退すると思うが。

答

町長

茶のブランド化を図りながら地域の所得につなげ、県と一体となり生産に力を入れ、工場の整備も進めながら販路拡大にもつなげ、町として精一杯の支援をする。

問

野村

生産量の多い工場だけでなく、個人の工場にも支援をし、生産量の底上げをしないと疲弊、衰退すると思うが。

答

町長

J Aと共同工場の機械導入は実行するが、個人工場には町として支援することは現時点ではできない。

議長一口メモ！

仁淀川町第一号の観光特使となった、本町仁淀地区出身の吉田類氏が、町内をガイドした「仁淀川町で遊ぶ本」が人気である。

類氏といえば、「酒場放浪記」で酒場を廻り、うまい肴で酒を飲む、土佐の酒好きにぴったりの番組で、好評だ。

昔は家々の軒下には、酒10本入りの木箱が何段も積まれていた。今も残っているが、神祭、寄合などで酒を飲み

ながら世間話や議論で盛り上がり、時にはけんかもあったがその分、地域のつながり、結びつきが生まれていた。

最近は飲む人口も減り、機会も少なくなっている。都会では、自社ビルに格安で飲む場所を設け社員の親睦、交流を図っている。部長と酒を飲めば、補助が出る。盃を交わし話をすれば、絆が生まれ本音で話せる土佐の酒文化。

酒は飲むとも飲まれるなの精神で。

片岡 政徳

町内のいじめは

答

起こらないよう指導

環境が変わる不安や心配はあるが、教職員、保護者の協力を得、生徒たちをサポートしていく。現状では気になる点はないが、学校経営の中で問題行動が起こらないよう指導する。

答

教育長

問

野村

学校統合が取りざたされている中、子どもたちの心が乱れる時期だと思うが、学校及び私生活においていじめが発覚していないか。

答

教育次長

子どもたちに寄り添う教職員が、対策を取る上で県のスクールカウンセラー事業、地域アクシヨンプラン事業などを利用し、心のケアに努める。

問

野村

今1件もいじめが発生していないのは素晴らしいことだ。子どもたちの気持ち、行動を大切に、安心安全な学校生活が送れるよう指導を。



八女市の段々畑



納得できる新庁舎を

答 十分検討

行政サービスの「出前」は、高齢化の進んだ町内

答

副町長

今までの公務員は、前例主義で、新しいものを創る能力に欠ける。高齢化が進み、これらの役場職員は住民を待つのではなく、出向いて住民のニーズに応えていく時代になるのでは。

問

西森(常)

分庁にして、機能を分散して、効率的な行政運営ができるか、十分検討の必要がある。

答

副町長

大崎に本庁を置き、池川、仁淀が支所になったら、職員の数が減る土居、森地区が寂れるのは、誰しも予測できることだ。議員の過半数が、分庁方式を支持するなかで、町民が納得できる新庁舎とは。

問

西森常晴

ゴミの資源化は

答 検討する

柔軟な、将来を見据えた、質の高い計画づくりの必要性は承知している。

答

副町長

新しい庁舎は、老朽化した大崎診療所、保育園、森林組合、商工会事務所などを含めた、複合施設の建設を強く要望する。

問

西森(常)

においては、必要と考えている。

高吾北広域事務組合から、し尿処理施設の改修の話は聞いている。前向きに検討したい。

答

町民課長

本町も、町民の協力を得て、ゴミの分別を図り、資源化、し尿とあわせて肥料化、農地還元する考えはないか。

有機農業の先進地、宮崎県綾町は、し尿をすべて農地に還元している。徳島県の上勝町は、ゴミゼロ宣言をし、福岡県大木町は、日本で2番目にゴミゼロ宣言をした。広域のゴミ、し尿処理施設が老朽化し、新しい施設の建設となると、十数億円の負担となる。

問

西森(常)



福岡県大木町循環センター



佐川高校寮は

答

希望者がいなかった



使われなくなった佐川高校清和寮

問

西森久雄

佐川高校へ通学している生徒は、自宅便または

大崎からのバス通学をしている。
以前は寮があったと思うが、現在はどのような状態になっているか。

答

教育長

以前、清和寮があったが利用する生徒が減少し、12年4月より閉鎖となっていた。

その後、12年間そのまま置いていたが、利用の見込みがないため24年4月県教委の管轄から県警に移管し、事実上廃止されたようだ。

問

西森（久）

仁淀高校が閉校となったのは県の意向である。県も町も先の事を何も考えていなかったのではないか。

仁淀高校が閉校となる前に、寮を新築または改築することを県に話していたか。

今後、寮母を町が雇い、寮または下宿を造る事ができないか。
部活をやっている生徒

答

教育長

の保護者は、朝6時頃から送っていく、夜遅くに迎えに行っている。
頑張っている生徒たちや保護者のために、町としても応援できることは頑張っていたきたい。

以前、仁淀高校振興協議会で、寮の件が議論にあがっていた。
非公式に中学生に寮を利用するか調査したが、希望者がいなかった。



私は代表委員長として一年間活動しました。

私は積極的に意見を言ったり、みんな

な意見をまとめることが苦手です。それを克服するためと、自分の長所を活かすために委員長になりました。

代表委員長の仕事は、生徒総会や役員選挙での司会です。生徒総会では各学年、各部活動から出された意見を一つにまとめるのが難しかったです。選挙の司会では、名前を間違ったりしないかとドキドキしました。

私が生徒会活動で学んだのは、みんなの協力によって生徒会が成り立っているということです。この一年、今までにない体験がたくさんできて、楽しかったです。

岡林 美也子



中央公民館 土足で利用しやすく

答 検討している

大きな団体の総会や行事などで、土足利用を希望する声を聞いている。町長からも話があり、検討している。公民館は各種文化団体や行政の各種事業など多方面に利用しており、現状のままでの利用要望も多くある。構造が土足用でないこと、清掃などの課題もあり今後どうするか決めた

中央公民館はスリッパに履き替えての利用で、高齢者や特に足の不自由な方々に危険である。土足利用の検討を。

問

山口芳正

答

教育長



中央公民館

自然・再生可能 エネルギーの 取り組みは

問

山口

太陽光発電や、木材を利用した暖房器具の設置等に補助の考えは。

答

町長

太陽光・風力・バイオマス・小水力・地熱などの再生可能エネルギーが

ある。県内でも16市町が、住宅用太陽光発電に対し補助金制度を設けている。固定価格買取制度が始まり、県は家庭用太陽光発電の補助制度を24年度から廃止した。本町も今後の需要状況などを見ながら検討する。木材を利用した暖房器具は、一般家庭用薪ストーブやペレットストーブの設置補助になると思う。現在、国や県に補助事業がなく、町単独の補助は考えていない。県では森林環境税や※J-VER制度など、全国に先駆けて新たな森林政策を行ってきたこともあり、県に対して補助制度の創設の検討を要望している。

※J-VER (オフセット・クレジット)

化石燃料に変えて、間伐などの森林整備でCO2吸収量を増やした事業者は、吸収、排出量をクレジットとして売ることができる制度

※Q-Uテスト

より良い学校生活を送るためのアンケート

補助金

厳正な運用を

答 厳正な執行を徹底

問

山口

補助金の効率的な活用や、支出を図る指導体制は。

答

町長

町補助金交付規則及び各事業の交付要綱などにより、適正な執行を行っている。

担当課で検討会を設け、協議し採択を決定している。

指導は担当職員が必要に応じて、書類や写真のチェック、現地確認を行っている。

問

山口

実績報告書の添付資料と、完成検査の体制は。

答

町長

事業により異なるが、収支計算書や事業内容、事業費の確認書類、完成写真などである。

完成検査は検査職員と担当職員が実績書類の確認と、事業主への聞き取りを行い、必要に応じて現地検査を行っている。

問

山口

農業確立総合支援事業補助金の、一部返還処理の決定根拠は。

答

町長

実際に予定されていた工事は行われていたが、受益者負担分が一部年度を越えて未納であった。年度内完了の原則から未納分は認めず、一部返還を求めた。

問

山口

再発防止への取り組みは。

答

町長

補助金執行のルール協議を行い、25年度から適用、再発防止に努める。

内容は補助金交付規則を、支出する補助金、交付金、助成金などを統括した規則に改正し、予算の適正な執行を期すとともに、事務処理マニュアルを制定する。

今までは完成検査の時に未払いでも、実績報告書を信用し検査をしていたが、今回は支払い確認ができていないことが原因なので、確認体制の整備を図る。

問

山口

責任の所在は。

答

町長

今回の件は著しい職務怠慢や、重大な執行上のミス、便宜供与はない。指導が不十分で最終支払いの確認などのチェックができなかったことが原因である。

問

山口

学校再編など教育環境の変化が心配されるが、特色ある学校づくりやいじめ対策への考えは。

学校づくりや
いじめ対策は

答

教育長

小学校と中学校に、定期的にスクールカウンセラーを配置して、子どもたちの心の変化を見逃さないように努めることや、子どもたちの心の内面をできるだけ詳しく把握するために、※QUTテストを定期的に行っている。

大事なことは、いじめが起これない明るい学校をつくっていくことと、もし起こった場合は早期に対応していくことだ。



吾川・池川中合同もちつき



模擬議会今後は

答

続けていくよう考える

学校で感じていることや普段思っていることなど、率直な意見交換ができた。
過疎化、高齢化、人口増加対策、産業振興対策、町のPRの必要性など、町が直面している課題に議論ができた。
今後、子どもたちに分かりやすいように説明していく事も考えていく。

答

町長

21年以降行われていなかった中学生模擬議会、本年度、10月に開催されたが、生徒の素直な質問が多く出たように思う。
少し答弁が難しく、長くて理解しにくいところもあったようだ。
今後も、毎年行つてはどうか。

問

藤野格昭



答

教育長

キャリア教育の一環としての位置付けで取り組んでいる。
学校教育としての位置付けなど学校側の課題もあるが、今後も続けていくよう考えている。

坪井地区のハウスは



坪井地区ハウス

問

藤野

同地区のハウスは、入交産業が始め系列会社のハート&ハートが運営を行っていたが、本年度撤退したと聞く。
地元で耕作するのは、1.7haの内半分位、町が介入し耕作者の斡旋、また購入し貸与することはできないか。

答

町長

撤退後は地元農家2戸により65アール余りの夏秋トマト栽培が予定されている。

問

藤野

今後、軌道にのれば規模拡大を図っていくようである。
JAと連携しながら組合を通じ町としても紹介をしていきたい。

答

池川地域振興課長

坪井協業組合、JAと話し合いをもち、今後どのようにPRするか検討していく。

※坪井地区は昭和47年入植、18haの桑畑で養蚕事業がスタート。
平成9年よりハウスの整備が進み、トマト栽培で現在に至る。

橋の点検は

答

適切な維持管理

問

藤野

町が管理している橋の設置状況と点検はどうなっているか。

答

町長

町道、農道、林道合わせて403橋ある。

町道15m以上の66橋は、24年度中に点検を終了、整備の必要なものは25年度から整備を行なっていく。

農道と林道は、職員の現場パトロールによる目視点検を行っている。今後、適切な維持管理に努めていきたい。

問

藤野

地元からも要望がある昇雲橋、県道からの入り口が狭く通学バスも苦勞しているが。

答

町長

県と協議しながら検討していく。

生活道の改修は

問

藤野

吾川地区では、突きばしの狭い道を生活道として現在も利用している。

住民も高齢になり、車の往来に難儀をしている。今後、改修の予定は。

答

町長

全線改良は難しい、地元からの要望と用地の協力が得られれば、必要な箇所の改良工事を検討していく。



入り口の狭い昇雲橋

コラム



僕は、図書委員長として一年間やらせていただき、とてもやりがいがありました。

集会のときには、毎週前に立って発表をしていましたが、本心に緊張していました。でも毎週、執行部という視点で

集会を見ていて、集会はそれぞれの学級や委員会の意見を伝え合う大切な場所なのだと感じました。

次に、あいさつ運動を行い、地域の方々との交流を通して、自分も地域の方々のために頑張りたいという気持ちが生れました。

あいさつ運動で道路に立っている時、おじぎに対しておじぎを返してくれたときは、本当にうれしいです。地域の方々はいつも笑顔であいさつしてくれまし、そんな素晴らしい地元を大切にしていきたいと思いました。

小崎 彰一



なぜ本庁方式に固執

答 協議を重ねる

問

若藤敏久

総合支所方式を見直すのなら、合併後仁淀と池川が急激に寂れた反省点を検証し、町民の理解を得ることが先決だ。

全ての機能を本庁に統一すると、仁淀、池川はこれまで以上に寂れることになるが、議会の意見も聞かず、なぜ町長は本庁方式に固執するのか。

答

町長

平成の合併は各市町村とも暫定的措置として、総合支所方式や分庁方式を採用してきたが、合併支援措置のある27年度までには将来を見据えたまちづくりが必要と思う。

問

若藤

職員の削減による事務の効率化を図り、補助申請や計画などを本庁に一元化することにより、今までどおりのサービスが提供できる行政組織を検討している。

合併協議会で「本庁は吾川」と決定した前提には総合支所方式がある。

本庁方式ならすべてご破算となり、一から議論すべきだ。



森地区

合併前、当時の執行部は「総合支所方式ならこれまでどおりのサービスが受けられる、職員も削減しない」と説明し、町民の理解を得ている。

また、合併支援措置が10年間だということは当初からわかっていたはずだ。今になって行財政の効率化を理由に、本庁方式と言うのは町長の独断専行で理解できない。

本庁方式なら、両支所の職員は何人必要か。

答

町長

将来一つの町として発展するために本庁舎を構え、総合支所機能に近い方法が良いと考えている。今後は町民代表や、議会と協議を重ね、より良い方向を目指していく。

答

高津川総合支所長

久万高原町では美川、面河両支所とも職員は5人となっている。

答

下方仁淀総合支所長

業務の内容によるが、



土居地区

問

若藤

戸籍、福祉関係のみの窓口業務であれば、交代要員を含め4〜5人で対応できるのではないかと。

答

町長

行財政の効率化は、住民の福祉の切り捨て以外のなにものでもない。

町長は、支所の職員は20数人を考えているようだが、両支所長は5人で対応できるという、どのような支所になるのか将来の町の姿が見えない。

幹部を本庁に集約し、庁舎内を統一しても支所での住民サービスは低下する。

通常の支所なら5人ほどだが、国道も通行規制があり、窓口には各担当を置き一定の職員は配置したい。

現在は支所に対応した案件を、本庁でも問い合わせするなど、二重、三重の手間となっており、将来は本庁方式が必要だと考えている。

コミュニティバス 委託先の検討を

答 検討する

問

若 藤

コミュニティバスの民営化（指定管理制度）は「タクシー会社の経営を圧迫する、交通弱者にはタクシー券で対応するように」と何度も申し上げてきた。

最近、森地区の老舗タクシーが店を閉め、遠い山道を歩いて帰るなど、病院や買い物に來た町民が大変困っている。飲食店も客が減り、タ

クシーのない影響がもろに出てくるが、どのように考えているか。

答

町 長

タクシーが辞めた件については、町民バス、コミュニティバスの影響があつたと思う。

町民の足がなくなり厳しい状況だが、タクシー会社と両立できないか検討を進めている。

仁淀川町には逆効果

問

若 藤

年間8千万円を超える町民の税金を投入し、タクシー会社を潰し、町民の足を奪い、飲食店をおびやかす現制度は即刻見直し、直接タクシー会社にコミュニティバスと町営バスを委託すべきだ。

国の指導による現制度は、人口の多い都会を対象としており、過疎、高齢化の本町には逆効果であり、一部に町民の税金が流れるシステムになっている。

答

町 長

指定管理制度を導入する際、タクシー会社と議論をしたが難しいのとのことであつた。

今後はどのような支援ができるか検討する。

答

副町長

現在は管理事業者からタクシー会社に再委託を

し、タクシーはボランティアの状態との声もある。タクシーを圧迫したかもしれないが、指定管理は守る必要があると思う。

コラム



私は学習文化委員長をさせてもらった藤野あずみです。

私は執行部に入ったことで、前に出

つたです。

しかし、今は当初よりも場なれすることができ、人の前に出たのあいさつが苦にならなくなりました。

一年間委員長として活動してきて、大変なことがたくさんあったけど、その分楽しいことやうれしいことがありました。

一年間ありがとうございました。

藤野 あずみ



コミュニティバス



地域懇談会 見えてきた課題

答 解決策を検討

問 農本規仁

地域懇談会から見えてきた課題は。

答 町長

20カ所、391人の参加で、幅広い意見や要望が聞けたが、早急な対応が必要なのは、担当課に現地確認や事業導入の検討を指示し、全ての意見を企画課で取りまとめを行っている。

最終報告書が完成すれば、全課で情報を共有し、解決策を検討していく。

問 農本

タクシー業者が一社廃業し不安の声があるが、買い物難民、交通手段のない人への対応は。

答 町長

集落の維持、交通手段がない不安の声も聞いた。できれば町内タクシー業界の窓口を一つにし、どこのタクシー会社でも対応できるよう、業界と

も協議している。移動スパーにも協力を求めている。

問 農本

懇談会を受け、何を重要課題として25年度予算編成を行っていくか。

答 町長

支援措置が終わるまで8年。将来が決まる大事な時期ととらえ、庁舎など公共施設の整備、不要な施設の撤去、処分、将来負担の起債の償還や削減、事務の効率化を行い、予算方針を示し、職員に指導を徹底している。

問 農本

具体的にはどう反映していくか。

答 総務課長

必要のない土地の売却、借地の見直し、災害時の対応を考えた宿日直の見直し、車両台数の見直しなど、将来の財政健全化に向け取り組む。

今 林産組合は

問 農本

林産組合の状況は。

答 産業建設課長

一年間の原木総入荷量

は、8千283立方で8千166立方を出荷。
ペレット製造量57tで50.4tを出荷し、乾燥施設の利用は1千886立方となり、当期損失は減価償却を除き300万円程度と報告を受けている。



林産組合 (25年1月撮影)



一般質問通告書

協議会への補助金交付は

9月定例議会で一般質問した内容について削除された経過があり

今回は一般質問内容は提出をしないが議会運営委員会で質問通告書を認めて頂いておるので質問通告書のみを提出する

質 問 通 告 書

※

次の件について、仁淀川町議会会議規則第60条第2項の規程により、質問の通告を致します。

平成24年11月27日

議席番号 5 番

氏名 岡田 良成 印

仁淀川町議会議長殿

記

質問事項	質問の要旨	質問の相手
協議会、補助金交付金に対し質問する	①協議会組織の内容、事業内容、組織結成された時期、協議会の公益性の説明 ②補助金交付をするまでの審査内容（請負業者の見積書をとる必要がなかったか）交付に至った理由 ③交付金を返還をさせた理由（返還の試算内容） ④補助金交付規則に対して、全額補助金返還を求める	町長

※質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならない。

391人参加

大石弘秋町長 行政報告

秋の叙勲

11月3日、前仁淀川町
議会議員の大原儀郎氏が
旭日双光章を受章された。
昭和46年に池川町議会
議員に当選以来5期20
年、本町議員として1期、
通算24年にわたり農林業
の振興、生活環境の整備
充実、過疎対策など推進
し、本町の発展の基礎づ
くりに貢献された功績が
認められた。

現在も高知県木材協会
副会長として、低迷する
林業、木材業のため活躍
中。

庁舎の検討

地盤調査結果を基に、
庁舎建設候補地を、大崎
保育所周辺の町有地とし
て検討していきたい。

今後、公共施設などの
配置などに関する基本構
想案を策定し、議会とも
協議しながら組織の再編、
本庁、支所体制への移行
を前提に検討したい。

並行して仁淀総合支所
の改築、各支所機能の維
持も検討していく。



3町消防団合同訓練



大原儀郎氏

広域防災訓練

高吾北地区3町消防団
大規模災害対応合同訓練
が、初めて越知町宮の前
公園で11月25日に行われ
た。

本町から消防団員90人、
婦人防火クラブ10人、総
勢310人が参加。大雨で仁
淀川が増水する中、四国
沖を震源とした巨大地震
が発生したとの想定で、
事前に詳細を伝えないブ
ラインド方式で行われた。
今回課題も発見され、
反省点を正すとともに、
他自治体との相互応援や、
消防団などとの連携を密
にする必要性を感じた。

職員採用

10月14日の一次試験。
11月14日の二次試験を経
て、一般職3人(男1人
女2人)、歯科衛生士1人
を4月1日より採用予定。

自然工場

2月に倒産した農産物
加工販売業者の破産管財
人に対して、ホームペー
ジ作成や保冷車購入に対
する補助金の返還金、217
万7千円、未払い金など
21万4千円を債権として
支払いを求めてきた。

高知地裁須崎支部で2
回の債権者集会が行われ
た。回収資産額が非常に
少なく、破産管財人など
の費用を支払えば、配当
される財産は残らない結
果となった。

補助金が効果を十分発
揮することなく、回収も
不可能な状況で、誠に遺
憾である。

今後反省すべきは反省
し、厳格な補助事業の執
行確保について全力で取
り組む。

地域懇談会20カ所

地域懇談会

池川地区7カ所、吾川地区6カ所、仁淀地区7カ所の計20カ所で地域懇談会を開催。池川119人、吾川164人、仁淀108人、計391人の参加で、21年より50人上回った。

参加者からは、幅広い分野に意見や要望が出された。

早急に対応すべきものは、終了後担当課に現地確認や事業導入を検討するよう指示した。

現在、意見、要望を一覧にして全課に配布し、担当課ごとにその後の対応を報告させ、最終の取りまとめ作業を行っている。

最終報告書ができた時点で、役場全体で情報を共有し、未対策の要望は解決方法を検討していく。

林産組合

第1期決算を迎えた仁淀川林産協同組合は、昨年春から原木の共同販売などの事業を開始したが、新しい流通体制であり、異常な材価の低迷も追い打ちをかけ苦しいスタートになった。

第1期の損益は、事業規模1億3千万円程度、原木仕入れ約8千万円、当期損失700万円余りで、減価償却費を除くと300万円程度の見込みと、報告を受けている。

仁淀川町 農林業振興基金

今議会に、農林業振興事業の財源確保の柔軟性を高め、適時の事業遂行を実現し、もって農林業の振興を図るため、仁淀川町農林業振興基金の設立を提案している。



森山 土居
中津 森



地区懇談会

中学生模擬議会有意義な体験

教育長行政報告

教育長 大野 敏光

中学校再編準備

新しい制服も決まり、学校の文化祭など機会をとらえて展示し、生徒や保護者に見てもらっている。

3月に向けて荷物の移動計画や教科の調整準備を続け、生徒たちの心情に負担のないようすすめていく。

中学生模擬議会

日頃感じていることや、要望したいことなど、活発な議論が行われた。

※キャリア発達の観点からも有意義な体験となった。

学力調査

1月に、高知県版学力調査を実施する。小学校5年生と中学校2年生が対象。結果の分析を十分に行い、本町の学力向上につなげていきたい。

池中グランド整備

老朽化したフェンスの張り替え、運動場の表土の一部入れ替え、照明設備の見直し整備に6千400万を計上。



池中グランド

コラム



私は、厚生委員長をやらせていただいた片岡佳穂です。
厚生委員長になり、自分の成長に一

番驚きました。最初は、人前で発表する時、声が小さかったり、緊張で手足が震えるばかりでした。

でも、経験を重ねるうちに、相手に伝えるということも考えられるようになりました。まだ自信がなかったり、緊張する時もあるけど、自分でも自分が変わったなと思います。

そして、執行部に入ったからこそ分かったことがあります。それは、たくさんの方からの協力です。私たちがいろんな活動ができたのは、その支えがあったからです。それが、すごく大きいものだということが実感できました。

私は、一緒にやってきたメンバーと活動ができて、すごく楽しかったです。

片岡 佳穂

※キャリア発達

社会の中で、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程

ここが聞きたい

Q
&
A

— 第 7 回 (11月) 臨時会 —

報告2件、議案1件を原案どおり可決し、閉会した。

○専決処分の報告

■事故の概要

平成24年9月20日、林道松原線を通行中の自動車に道路上部の倒木が滑り落ち、フロントガラスに損害を与えた事故。

□和解の内容

町は相手方に5万2千200円を支払う。

町及び相手方は、本件に関し支払った金額以外に一切の債権債務関係がないことを確認する。

■工事名

23年度(繰越) 池川中学校校舎耐震補強・改修工事

契約の相手方

大旺新洋(株) 高知建築本店

木製建具の調整、飛散防止フィルム張り、屋外階段修繕、外壁クラック処理、外部改修解体撤去、技術室照明器具設置等の追加で216万900円の増額。

●24年度生活基盤近代化事業土居簡水基幹改良工事

契約金額

5千187万円

契約の相手方

栄宝生建設(株)

国の生活基盤近代化事業により行うもので、24年度及び25年度で行う。土居簡易水道の漏水工事が多く発生している個所を改良していく。



耐震工事の終了した池川中学校

ここが聞きたい

Q & A

— 第 8 回 (12月) 定例会 —

報告1件、条例7件、その他4件を原案どおり可決した。

○専決処分の報告

■平成24年度一般会計
補正予算(第4号)

衆議院議員選挙に要する経費として1千329万5千円を追加し、73億7千431万9千円とする。

■仁淀川町農林業振興
基金条例

将来に向けての安定的な財源を確保するため。

(可決 全員)

■仁淀川町手造りの森
管理運営基金条例

町が主体的かつ継続的に管理運営を行うために実施する、手造りの森にかかる権利の整理に要する財源を、円滑に調整するため。

(可決 全員)

■仁淀川町池川439交流館の設置及び管理に関する条例

北浦に建設中の交流館に、指定管理者を定め管理運営を行うため、設置

及び管理に関する事項を定めようとするもの。

問 橋本議員

他の指定管理と、同じような考え方で良いのか。

答 片岡副町長

その他観光施設の指定管理と同じ。

(可決 全員)

■仁淀川町営住宅等の整備に関する基準を定める条例

地方公共団体への条例委任が4月1日から施行され、各自治体が独自に整備基準を条例化する必要が生じたため。

(可決 全員)

■仁淀川町新型インフルエンザ等対策本部条例について

新型インフルエンザ等対策特別措置法が平成24年5月11日に公布され、市町村に対策本部を設置することとされたため、必要事項を定めようとするもの。

(可決 全員)

■証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に交付され、条項にずれが生じたための改正。

(可決 全員)

■仁淀川町消防団の設置に関する条例の一部を改正する条例

消防組織法の一部を改正する法律が施行され、条項にずれが生じたための改正。

(可決 全員)



建設中の439交流館

■一般会計補正予算 (第5号)

4億2千379万7千円を追加し、77億9千811万6千円とする。

問 野村議員

池川茶業組合の補助金の内訳は。



答 津野池川地域振興課長

精揉機・熱風発生機・取り出し判定機を各2機。個人負担分が25%、残りを県と町が1/2ずつ負担。

問 野村議員

個人の事業者には補助できないのか。他の市町村ではできているが。

答 大石町長

個人への助成は林業などはあるが、その他は難しい。

問 岡田議員

不動産鑑定委託料の説明を。



答 下方仁淀総合支所長

仁淀総合支所前の民有地の鑑定委託料。

問 岡田議員

庁舎建設問題、支所機能も決まっていらない今、鑑定する必要はない。

答 大石町長

まちづくり構想のひとつの資料として参考にした。

問 橋本議員

バスの購入について、具体的な説明を。



答 竹本企画課長

吾川から池川へのスクールバス増設のための購入と、古くなったバスの買い換え。

問 橋本議員

池川中学校のグラウンド整備の説明を。

答 大野教育長

フェンスの取替、照明の増設2基と移設2基、バックネットの移設、土の入れ替え。3月末までに完了予定。

問 藤野議員

手造りの森基金は、一口いくらで何人が購入しているか。



答 岡崎総務課長

一口30万円で、209口。

問 山口議員

アドバイザー謝礼とあるが、どういう人を雇い、何をするのか。

答 竹本企画課長

まちづくりの専門の視点から、庁舎他公共施設の現状分析や測量を行い、建物配置の構想案を練ってもらう。

賛成者

(可決 多数)

西森(常) 坂本

藤原 橋本

西森(久) 農本

山口 野村

藤野 若藤

■介護保険会計補正予算(第3号)

2千31万2千円を追加し、11億2千927万1千円とする。

(可決 全員)

■農業集落排水事業会計補正予算(第2号)

65万円を追加し、5千513万9千円とする。

(可決 全員)

◆発議第5号

仁淀川町議会委員会条例の一部を改正する条例

(可決 全員)

◆発議第6号

仁淀川町議会会議規則

の一部を改正する規則

(可決 全員)



25年1月20日の出初め式(吾川中グラウンド)



昨年行なわれた吾川中バザー

日記帳

24年 9月		10月	
30日	運動会	6日	県戦没者追悼式 四国地区町村議
29日	別府小運動会 大崎小・長者小	11月 1日	県戦没者追悼式 四国地区町村議
27日	長会 四国町村長・議長会	30日	追悼式
23日	運動会	28日	との意見交換会
16日	吾川中体育祭	26日	県選出国会議員 周年記念祝賀会
15日	大崎・森地区敬老会	25日	広域連合創立10 周年記念祝賀会
11日	定例会 第6回	22日	こうち人づくり トップセミナー
9日	下名野川地区敬老会	20日	委員会 式
7日	仁淀中体育祭	16日	議会だより特別 委員会
4日	議会運営委員会	15日	中央・別枝地区 秋季戦没者追悼 式
3日	組合議会	13日	中学生模擬議会 武田の里サミット
2日	消防団防災訓練	9日	視察研修会(北九州)
24年 9月 2日	高吾北広域事務 組合議会	2日	議会だより特別 委員会
		10日	会議長会研修会 (高松市)
		12日	名野川小閉校式 臨時議会
		13日	町村議会 議長会全国大会 (東京都)
		17日	吾川郡議長会秋 季視察研修 (長野県)
		22日	中津溪谷紅葉まつり 議会だより特別 委員会
		25日	高吾北地区三町 消防団合同訓練
		27日	健康福祉大会
		28日	議会運営委員会 高吾北広域事務 組合議会
		12月 1日	集落センター 「だんだんの里」 落成式



僕は、2年間生徒会役員として活動してきました。その中で一番思い出に残

っているのは、今年のバザーです。なぜかという、いつもなら前の年の売れ残

りがあるのですが、今年はありませんでした。
だから一から品物を集めるために、1学期からバザーの呼びかけをしたり、地域の商店街の店に頼みに行ったりしました。それに地域の方々のご協力のおかげで、去年と同じぐらい品物を集めることができました。
また当日もたくさんの人がバザーに来てくれたおかげで、去年の2倍ほどの利益を出すことができました。
このバザーで僕たちの活動は、生徒、先生、地域のみなさんの協力のおかげでできているんだと改めて実感することができたからです。

掛水 誠史

編集後記

葉王寺でおみくじにチャレンジ。6人中3人が大吉。お正月サーブスで大吉多めかな。(福原)

給食の校内放送が流れてくる。子どもたちの動きが俄に忙しくなりやがて静かになる。(西森建)

木材チップに、し尿・牛フン・食物屑を加えると良質の堆肥ができます。ゴミ0の実現を。(西森常)

特別委員会で研修に行き決定した案件をひっくり返す議員は如何なものでしょうか。(岡田)

今年も始まった、秋葉祭りのならし。トンチキチの音が、別枝に鳴り響いていました。(農本)

高齢化の著しい本町にとって、健康をどう守っていくのか。病院の早期復活を願う。(山口)

今年は、いつになく寒い日が続きます。小鳥の多くも里に降りてきている。春は近い。(藤野)